



①南・北国道事務所との意見交換会
9月8日(金) 15:30 ~ 20:00
[於:カルチャーリゾートフェストーン]

③第133回 道路美化・清掃活動
9月19日(火)10:00 ~ 国道58号、329号、331号

会員だより

北丘高架橋工事!

道建協会員のみなさま、こんにちは。
去年度末に竣工した北丘高架橋下部工工事について紹介します。

本工事は、沖縄総合事務局那覇空港自動車道出張所管内の与那原・南風原バイパス整備事業(与那原バイパス延長4.2km、南風原バイパス2.8km)の内、南風原バイパスにおける、橋脚3基築造及びボックスカルバートの敷設工事でありました。

工事の特色として、橋脚施工の前に現場中心を流れている水路を新設ボックスカルバートへの切替えを行う必要があり、それに伴う町道38号線の切回し道路設置において、位置と施工方法を十分に検討し、通学児童や歩行者と付近住民の生活道路である通行車両の安全確保をすると共に、本工事の並行作業を可能にする事で、地域住民・一般車両・歩行者への配慮を第一に考え、こまめなコミュニケーションを図り、誠意をもって施工を行った結果、苦情もなく無事故無災害で工期内完成をすることが出来ました。地域の皆様並びに道路利用者には、工事期間中ご不自由をお掛けしましたが、バイパス開通までには上部工工事や側道工事等と、あともう少しご不便がかかってまいります。

しかし完成しましたら、渋滞が現状から約6割削減、与那原町から那覇市までの所要時間は現状から約11分の短縮、国道329号区間の死傷事故率が現状から約4割削減することが期待できます。

株式会社 大寛組 代表取締役社長 大濱 均

す。
これからも安心安全な街づくりのために、地域・社会の皆様の繁栄に貢献してまいります。



切り回し道路夜間照明安全対策



町道切り回し道路全景!



全

北丘ハイツ自治感謝状



通学児童の交通誘導

【工事部:照屋 雅浩】

株式会社 第一三興建設 代表取締役社長 山城 一三

てもらいました。どちらも完成間近ということもあり、出来形の測定や書類整理が主な作業で、工事内容を詳しく知ることは出来ませんでした。完成していく様子を見ることができて、とても感動しました。8月より平成28年度港川高架橋高欄設置工事の技術員として初めての現場配属となり、期待と不安でいっぱいです。現場で見かけましたら気軽に声をかけてもらえらばうれしいです。これから多くの現場で経験を積み、必要な資格を取得して立派な技術者として活躍していきたいと思っています!



初めての配属現場!港川高架橋

【現場技術員:當銘 優香】

企画・広報委員 (株) 國場組 建設営業部課長 久高 将一郎

沖縄都市モノレールトンネル開通

会員の皆様こんにちは、弊社にて現在施工中の浦添西原線都市モノレール建設工事(地下構造物H27-NATM)現場において県内初の鉄軌道トンネル貫通式が執り行われました。本工事は浦添前田駅から浦西駅間の地下区画約600m内のL=241.5mをトンネル(NATM)工法で施工するものであり、平成28年8月のトンネル掘削開始以来、延べ約8万1千時間、約1万1千人の労働人員を投入。平成29年5月に下半掘削が完了し無事、貫通式を迎えることが出来ました。貫通式は、トンネル工事における最大の式典であり、掘削工事が無事に貫通した事を山の神様に奉告し祝う儀式です。また、トンネル掘削時に最後に掘られた岩石は貫通石と呼ばれており、安産祈願のお守りとして、また数々の危険・難関を突破して貫通したトンネルの貫通石は「難関突破のお守り」、「意思(石)を貫くお守り」として入学試験合格や大願成就の願いが託されたパワーストーンとなっており、式典では100個の貫通石を記念品として発注者・近隣住民などの工事関係者にお持ち帰り頂きました。



貫通石!

平成31年春開業を目指す沖縄都市モノレール延伸事業に貢献できるよう今後とも技術の向上・安全施工に努めてまいります。



貫通式(浦西現場)!

会員だより

未来を支える若手技術者!

道建協会員の皆様、こんにちは。暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。体調管理に十分気を付けながら、海や川!花火やBBQなど!夏を楽しんでいきたいと思えます。私は今年、県内の職業能力開発校で建設機械整備訓練課程を修了し、4月に入社しました。入社前はオペレーター(現場作業員)志望でしたが、初の女性技術者として工事部に配属となり、早4ヶ月が経ちました。入社してこれまで、多くの外部研修に参加させて頂きました。周りは工業高校や専門学校を卒業している人達が多く、測量など全く未経験の私は“遅れているな”と感じることも多々ありましたが、講師の方や周りの優しさに助けられ、無事に修了することが出来ました。その後専門知識の勉強や慣れないPC操作、苦手な早起きなど(笑)。“1日として同じ日”がなく、とても充実しています!外部研修終了後に社内研修として2現場に行かせ

心ゆさぶる伝統文化!エイサー

旧盆の頃になると、どこからともなく聞こえてくる太鼓の響き、そお~「エイサー」です。

エイサーとは、本土の盆踊りにあたる沖縄の伝統芸能のひとつで、主に各地域の青年会がそれぞれの型を持ち、旧盆の夜に地域内を踊りながら練り歩きます。一言で「エイサー」と言ってもその形態はいくつかに分類され、現在ほとんどの青年会が、大太鼓、締め太鼓を中心とした「太鼓エイサー」であり、沖縄県中部が最も盛んな地域と言われている。その中



でも旧与那城町、旧勝連町で見られるエイサーは「パーランクー」という方張りの太鼓を用いたエイサーがほとんどで、締め太鼓とは違った雰囲気を出します。また、太鼓を使わない「手踊りのみのエイサー」もあり、本島北部にいくつか存在するが、これがエイサーの最も古い形ではないかと言われています。近年では、エイサーの型を取り入れ、音楽はポップスを使用する等、衣装も独創的な「創作太鼓」のグループも数多く存在します。

【出典:沖縄全島エイサーまつり実行委員会】

①第132回 道路美化・清掃活動

第132回ボランティア活動を8月15日(火)に17社18人で実施しました。

さすがに夏真っ盛りの暑さで熱中症対策の重要性を痛感しましたが、無事に終了することが出来ました。

